Research
Service
Technology

# 2025年度第2四半期　決算説明資料

2025年11月27日

Ahresty
Ahresty Corporation

※P.29、30のグラフに記載の文言等を一部更新しております (12/1)

Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# 2025年度 第2四半期の決算概況



Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# 2025年度　第2四半期決算のポイント

（単位：百万円）

| | 2024年度 | 2025年度 | | | 対前年同期比 | 2025年度通期 10/28 修正計画 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 上期 | 1Q | 2Q | 上期 | | |
| 売上高 | 78,195 | 42,914 | 39,176 | **82,090** | **+3,895** | **162,200** |
| 営業利益 | △253 | 1,623 | 181 | **1,804** | **+2,057** | **3,600** |
| 経常利益 | △536 | 1,289 | △249 | **1,040** | **+1,576** | **2,200** |
| 当期純利益 | △2,696 | 976 | 1,103 | **2,079** | **+4,775** | **2,300** |

《全体感》

- 売上高：　為替(円高)による減少影響はあったものの、主に主要顧客による国内自動車生産の回復等に伴い販売量が増加
- 営業利益：　第2四半期において米国工場が計画未達であるものの、販売量の増加に加え、前年度実施の生産体制の合理化等による基礎的収益力の向上に努めた結果、前年同期比で収益を大きく改善
- 当期純利益：　為替差損の計上はあったものの営業利益の増加や、関係会社株式売却益の計上等もあり増益

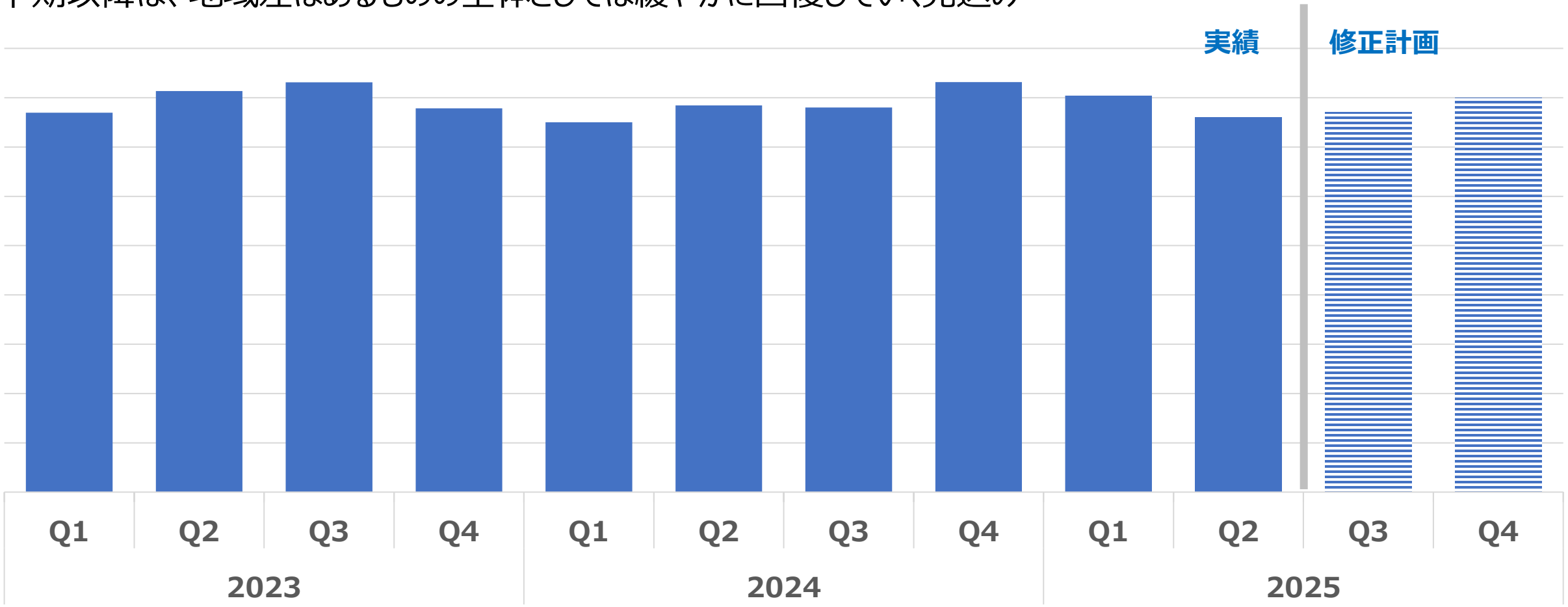


Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# 売上重量推移

第2四半期は中国での一部主要顧客の販売量が減少

下期以降は、地域差はあるものの全体としては緩やかに回復していく見込み





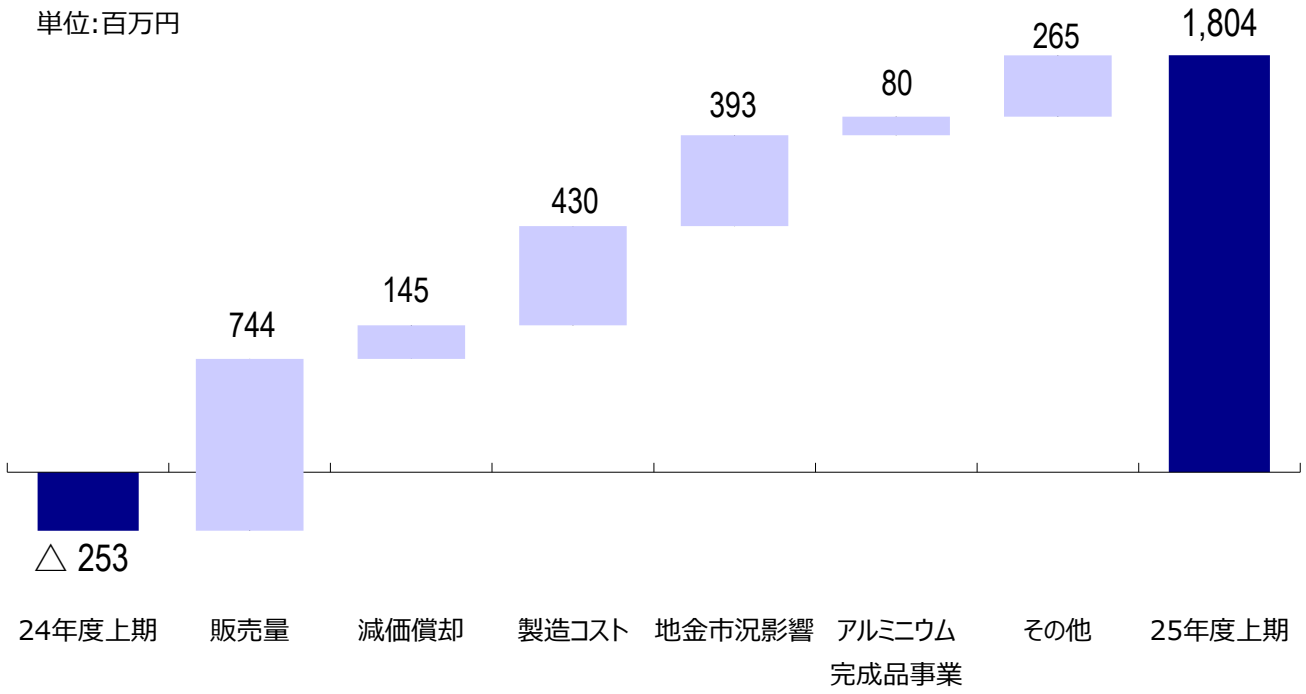

Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# 連結業績の状況

自動車生産の回復等に伴い販売量が増加。前年度実施の人員適正化や生産性改善の効果もあり、収益は前年同期比大幅に改善

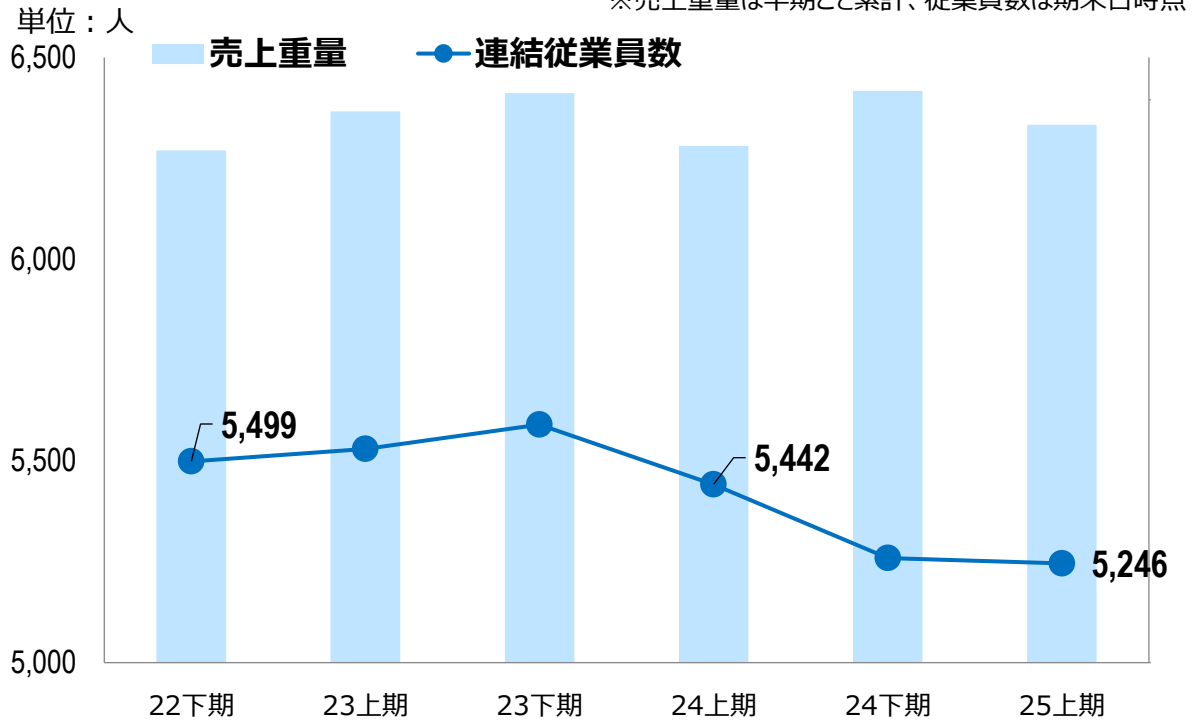
引き続きリーンな生産体制を進め、受注変動に応じた強固な収益体制を確保

## ■営業利益増減要因




## ■売上重量と従業員数推移

※売上重量は半期ごと累計、従業員数は期末日時点






Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# 米国工場の状況と再建の取り組み

## 足元の状況

・前年同期比(上期)で損失額は縮小
・現場マネジメントの強化により、残業や離職率は低減傾向
・生産性の改善は道半ばであり、製造コストは他工場と比較し依然として高い水準

## 再建計画4本柱の推進状況

| 項目 | 進捗 | 推進状況 |
|---|---|---|
| 個別製品の採算性の改善 | △ | 価格是正を含め推進中 |
| 品質ロスに着目した生産性の改善 | × | 生産性改善の遅れによるコストが依然課題 |
| ガバナンスとマネジメントの強化 | △ | 本社主導によるマネジメント層の強化により<br>改善スピードを高める |
| 北米リージョンでの経営資源の最適化 | ○ | 最適な生産補完の実施による収益の最大化<br>メキシコ工場への関税影響は注視 |

**生産性の早期改善を図り、下期黒字化を目指す**



Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# 2025年度 第2四半期の決算 詳細



Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# ダイカスト事業

（単位：百万円）

| | | 2024年度 | 2025年度 | | | 対前年同期比 | 2025年度通期 10/28 修正計画 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 上期 | 1Q | 2Q | 上期 | | |
| 日本 | 売上高 | 30,172 | 16,780 | 16,726 | **33,506** | **+3,334** | **65,800** |
| | セグメント損益 | △149 | 634 | 530 | **1,164** | **+1,313** | **2,000** |
| 北米 | 売上高 | 25,389 | 14,141 | 12,107 | **26,248** | **+859** | **50,600** |
| | セグメント損益 | △419 | 633 | △555 | **78** | **+497** | **250** |
| アジア | 売上高 | 17,221 | 9,234 | 8,048 | **17,282** | **+61** | **36,200** |
| | セグメント損益 | 256 | 55 | 111 | **166** | **△90** | **800** |

※ 北米セグメントのメキシコ工場及びアジアセグメントの中国2工場は12月決算となります。



Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# アルミニウム事業および完成品事業

（単位：百万円）

| | | 2024年度 | 2025年度 | | | 対前年同期比 | 2025年度通期 10/28 修正計画 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 上期 | 1Q | 2Q | 上期 | | |
| アルミニウム事業 | 売上高 | 3,466 | 1,640 | 1,505 | **3,145** | **△321** | **6,600** |
| | セグメント損益 | 70 | 64 | 30 | **94** | **＋24** | **250** |
| 完成品事業 | 売上高 | 1,945 | 1,117 | 789 | **1,906** | **△39** | **3,000** |
| | セグメント損益 | 179 | 163 | 72 | **235** | **＋56** | **250** |

**<アルミニウム事業>**
- 売上：販売重量が減少（前年同期比△9.1%）したことにより減収
- 損益：販売単価の上昇や原材料費の圧縮等により増益

**<完成品事業>**
- 売上：前年同期と同水準で推移
- 損益：個別物件ごとの原価低減等を推進したことにより増益



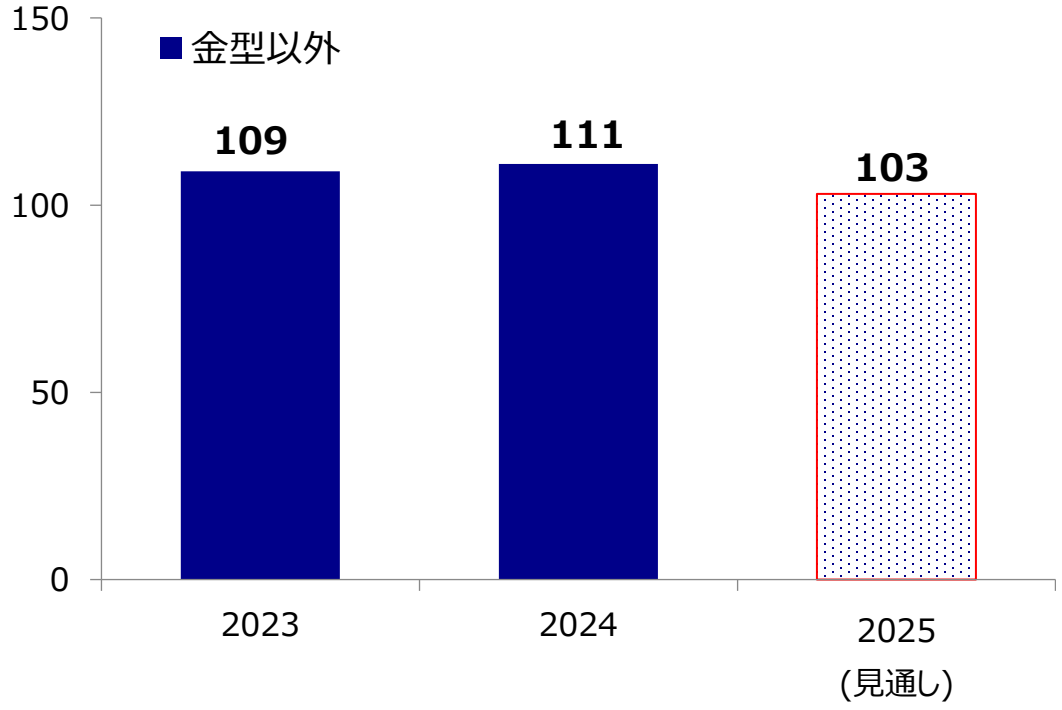
Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# 設備投資・減価償却費

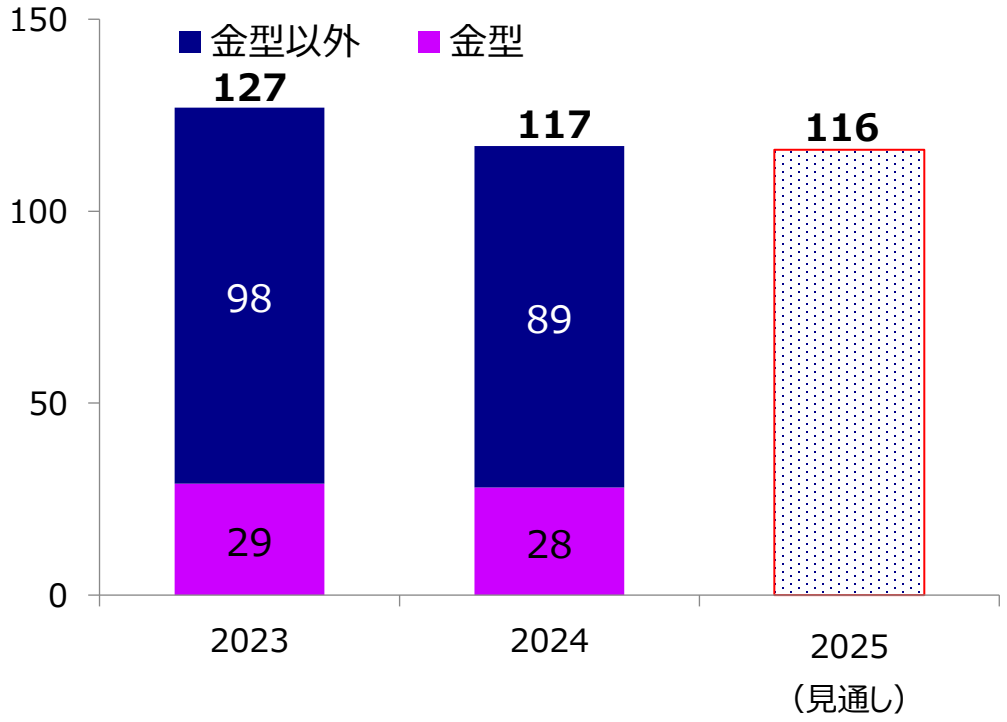
**2025年度見通し**

- 設備投資金額： 新規製品等への成長投資は継続したうえで、必要な投資を選別し投資効率の最大化につなげる
- 減価償却費　： 前年度同水準の見通し

**設備投資額の推移（単位：億円）**




**減価償却費の推移（単位：億円）**

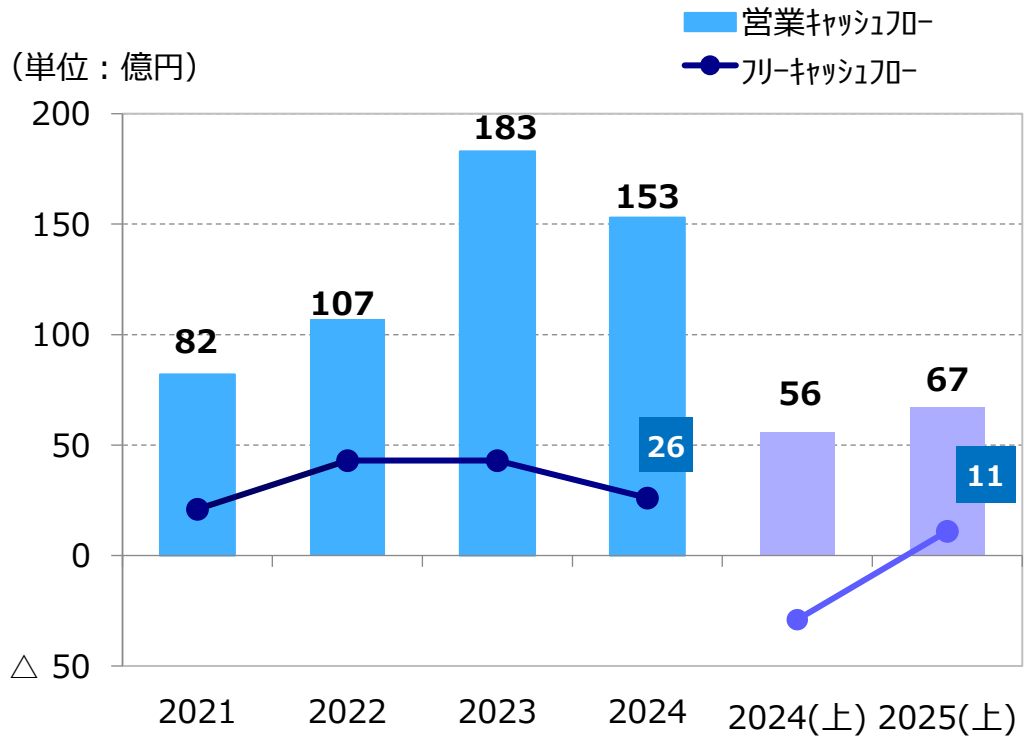




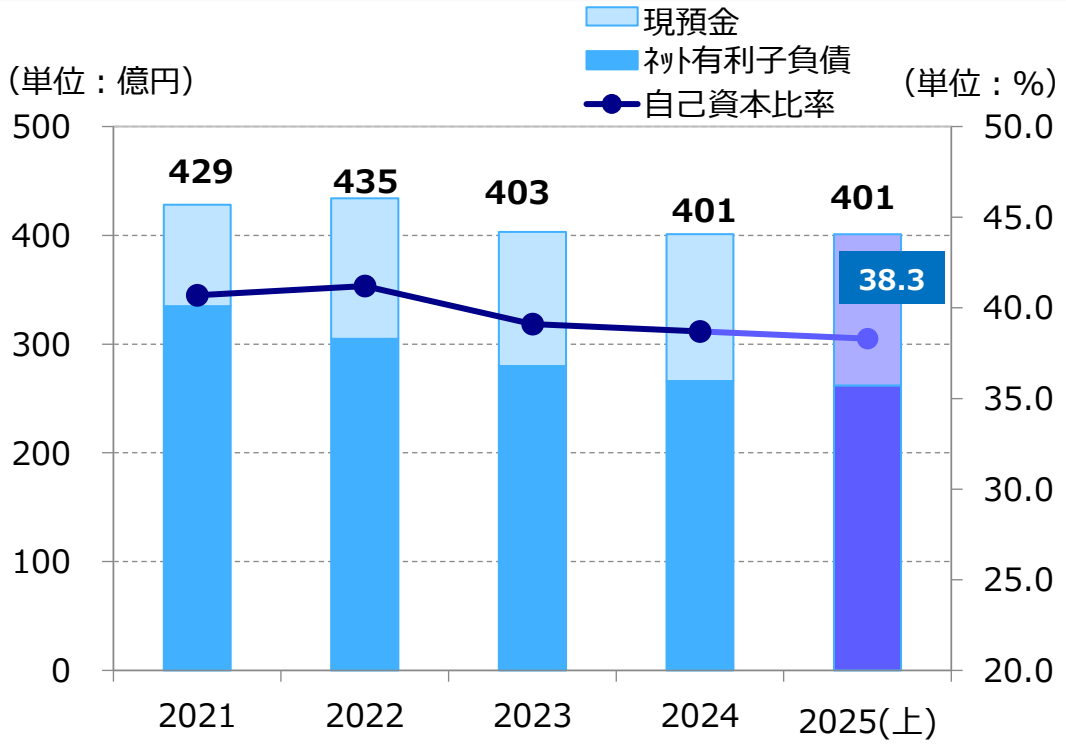

Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# 財務状況

- **キャッシュフロー：** 前年上期に比べ収益の回復に伴い営業キャッシュフローが増加、フリーキャッシュフローはプラスに
- **有利子負債　：** 現預金は前年同様の水準を確保。ネット有利子負債は262億円で昨年同期比37億円減
  自己資本比率は横ばい。引き続き、財務体質の改善に努めていく。




※フリーキャッシュフロー（FCF）＝営業CF－投資CF




※ネット有利子負債＝有利子負債－現預金



Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# 株主還元

| 1株当たり配当金 | 22年度実績 | 23年度実績 | 24年度実績 | 25年度10/28予想 |
|---|---|---|---|---|
| 年間配当 | 10 | 15 | 28 | **32** |
| 中間 | 5 | 10 | 10 | **16** |
| 期末 | 5 | 5 | 18 | **(16)** |
| 1株当たり純利益 | △3.26 | △300.55 | △116.26 | **92.74** |

**配当：**変更なし（32円/年）

・10月28日修正計画において当期純利益の修正はなく、配当に関しても期初予想を据え置き

・連結配当性向35%以上、配当下限額として株主資本配当率（DOE）1.5%を基本方針に、引き続き、機動的な受注と成長投資を継続するための健全な財務体質を維持しつつ、連結業績に基づいた株主還元を実施



Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# Reinvent Ahresty
# ～SMARTなものづくり～



Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# SMARTなものづくり

## SMART(賢い、高効率、素早い、すばらしい)なものづくりの実現

**「良品を生産性よく作れば収益は出る」という考えから、**
**「収益が出るように工夫して良品を作る」ものづくりを構築する**

### ものづくりで付加価値を上げる

- ●生産性向上＋付加価値を生まない工程の見直し
- ●設備の汎用化設計＋立上げコスト低減
- ●グローバル生産・設備補完

### 仕事の価値を向上、労働時間を下げる

- ●業務と役割の見直しで仕事の質を向上
- ●AIの利活用による業務の効率化
- ●DXを活用した省力化・省人化の推進

収入 **総付加価値を上げる** ↑ × **総労働時間を下げる** ↓ 費用



Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# SMARTなものづくりを支える高い信頼と品質

**メキシコ**

**北米デンソーより 品質パフォーマンス金賞 受賞**

**北米DENSO**
**Gold Award Quality Performance**

**インド**

**マルチスズキより Overall Performance賞 受賞**

**MARUTI SUZUKI**
**Overall Performance賞**

| | |
|---|---|
| **FY25受賞** | **◆南沙電装 総智総力賞**（中国広州） **◆HONDA クオリティ&デリバリー賞**(メキシコ) 他 |

Copyright © 2023 Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# 人的資本経営への取り組み



Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# 人財戦略の全体像

## 人財戦略３本の柱

### 人財育成

- 人財ロードマップによる計画的・戦略的人財育成
- 教育体系の整備（グローバルで同一の品質、ものづくりの基盤強化）
- ものづくりの人財力を高める

### エンゲージメント改革

- ワークライフバランス、健康経営の実現
- キャリアサポート制度の充実
- エルゴノミクスの実現、労働災害の撲滅
- 働きがいの醸成

### D＆I改革

- 経営のダイバーシティ推進（経営幹部の多様化）
- 新卒女性採用・女性活躍職域の拡大推進、女性管理職人材の積極的育成
- 障がい者への活躍の場の提供（特例子会社運営）

## 経営目標

**経営基本方針**

2040年ビジョン
**Ahrestyで良かった！を実現する**



Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# Reinvent Ahresty ~ものづくり人財育成~

「SMARTなものづくり」を支える人財力強化への取り組みを実施しています

**地域ごとの人財課題**

生産年齢人口の減少
海外人財の活躍拡大

雇用の流動性の
高止まり

市場拡大に伴う
人員体制の強化

**主な施策**

**職種別人財ロードマップの運用**

- 先を見据えて戦略的に技能職を中心に育成

**現場人財の教育を強化**

- 即戦力化するための仕組みの構築

**ものづくり力評価でCAPDo**

- 個人だけでなく工場単位のレベルを測って改善を推進

**現場人財の即戦力化**

**事例**

【インド拠点の人財育成】

インド工場よりトレーニーを受け入れ

日本の東海工場での研修を開始

►鋳造・加工部門の現場監督者育成

►ものづくり力を向上

Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# 25-27年度 中期経営計画



Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# 25-27年度 中期経営計画

## Reinvent Ahresty

～未来に向けてアーレスティを再発明する～

**アーレスティのものづくりの「 継承 」と「 再構築 」**

品質の良い製品、安定した納入をお客様へ提供し、
**信頼に応え、「期待を超える」ための**
**誠実なものづくり**

**「 継承 」**

収益・原価・ものづくりに対する考えを
**収益がでるものづくりへ**

**「 再構築 」**



Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# 25-27年度 中期経営計画_注力項目

| 10年ビジネスプラン<br>戦略の視点 | 25-27年度 中期経営計画　注力項目 |
|---|---|
| 稼ぐ力、財務体質強化 | • SMARTなものづくりを追求する |
| | • 競争力のある金型をグローバルで供給する |
| カーボンニュートラル | • 省エネで儲け、CO2削減活動をさらに加速させる |
| 事業ポートフォリオシフト | • 2030年を見据えてダイカスト事業のポートフォリオを最適化する |
| 顧客満足度強化 | • 仕組みを守り切り顧客から最上位評価を得る |
| ダイバーシティ<br>(多様性の向上) | • 生きいきと働ける会社をつくる<br>• ものづくりの人財力を高める |
| 従業員エンゲージメント強化 | |
| 軽量化、カーボンニュートラル、 競争力強化のための 技術基盤強化 | • 開発リードタイムを短縮する<br>• カーボンニュートラルダイカスト（CNDC）に挑戦する |



Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

**【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】**
**株式会社アーレスティ　経営企画部　経営企画課　　TEL　03-6369-8664**
**E-mail: ahresty_MP0_IR@ahresty.com**
**URL: https://www.ahresty.co.jp**

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。

Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

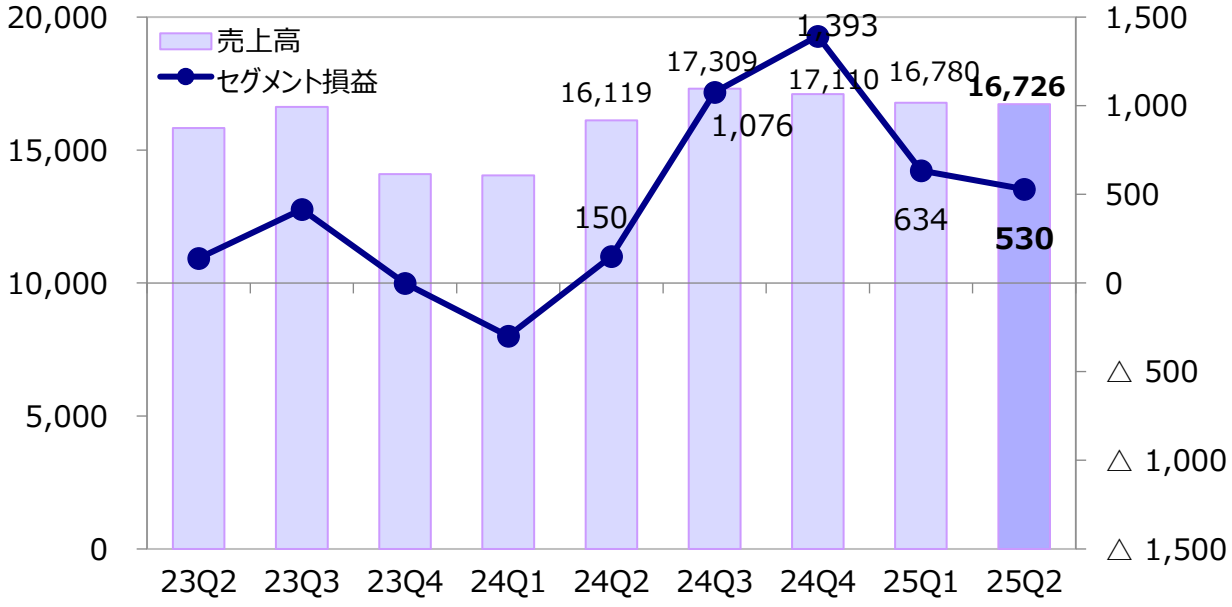
# Appendix



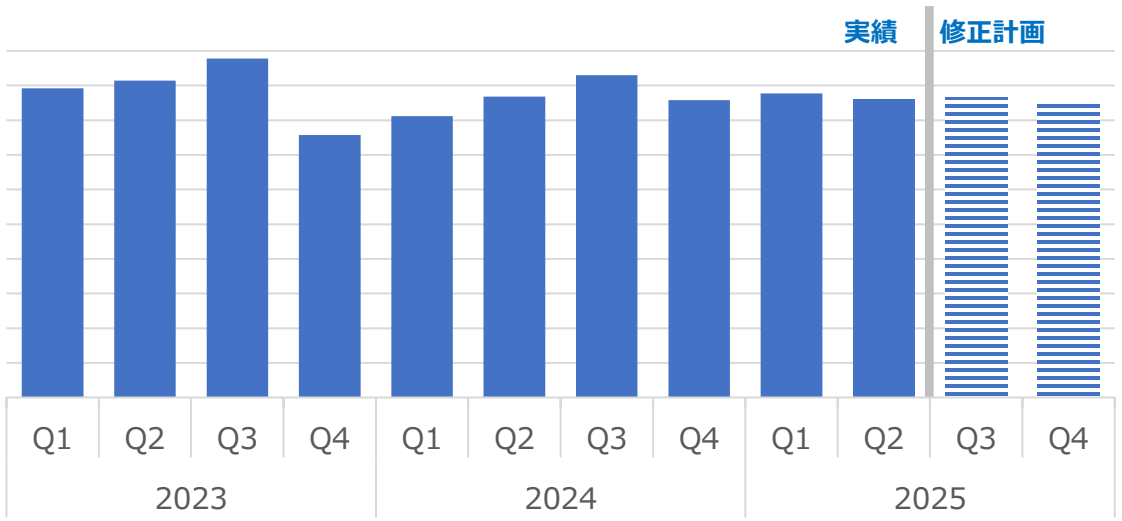
Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# ダイカスト日本

## 売上高／セグメント損益の推移（単位:百万円）



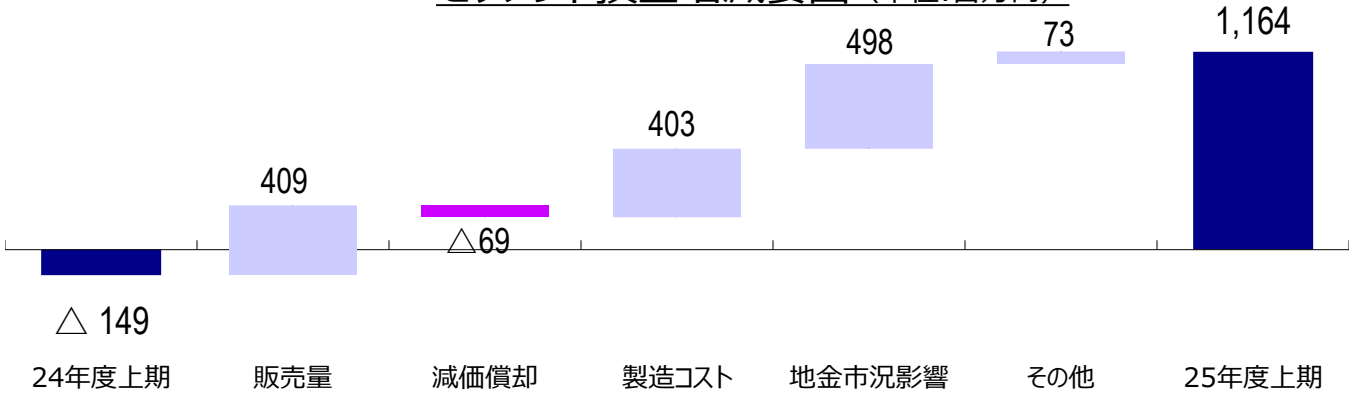

## 売上重量の推移




**《上期》**
**売上：335億円 前年同期比+33億円（+11.0%）**
**損益： 11億円 前年同期比+13億円 （黒字化）**
**《第2四半期》**
**売上：167億円 前年同四半期比＋6億円（＋3.8%）**
**損益： 5.3億円 前年同四半期比＋3.8億円（＋253.3%）**

- 前年度下期からの人員規模適正化等による製造コスト低減効果に加え、販売量の増加や前年度に収益を圧迫した地金価格高騰の平準化もあり、収益を大幅に改善

## セグメント損益増減要因（単位:百万円）

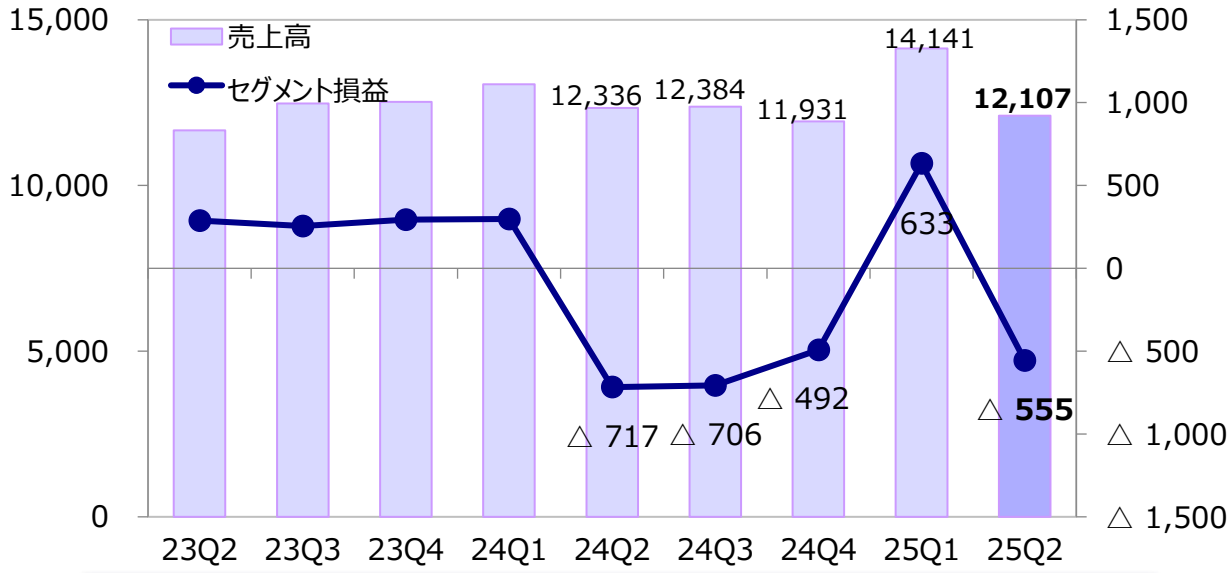




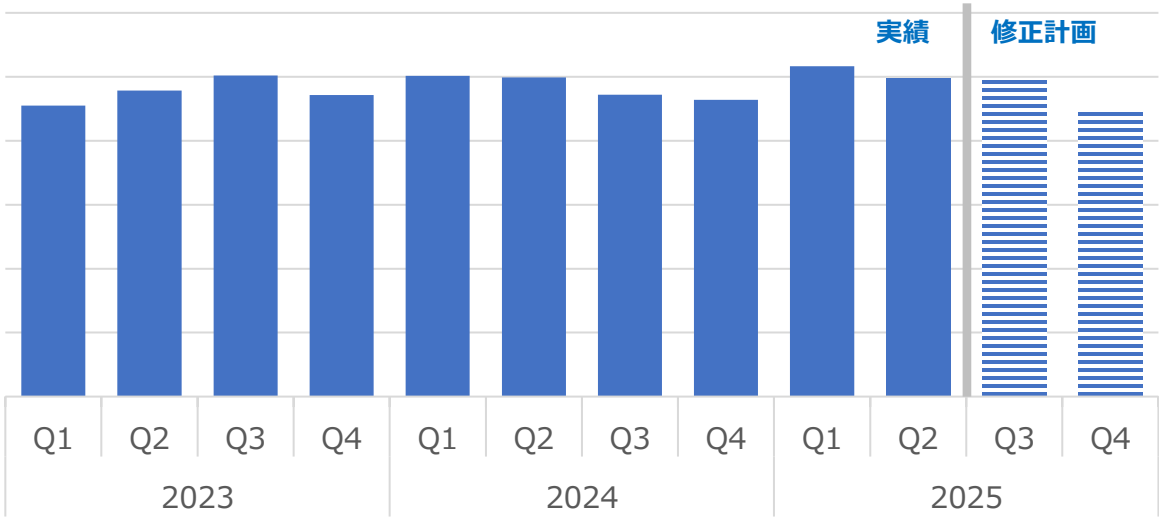

Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# ダイカスト北米

## 売上高／セグメント損益の推移（単位:百万円）



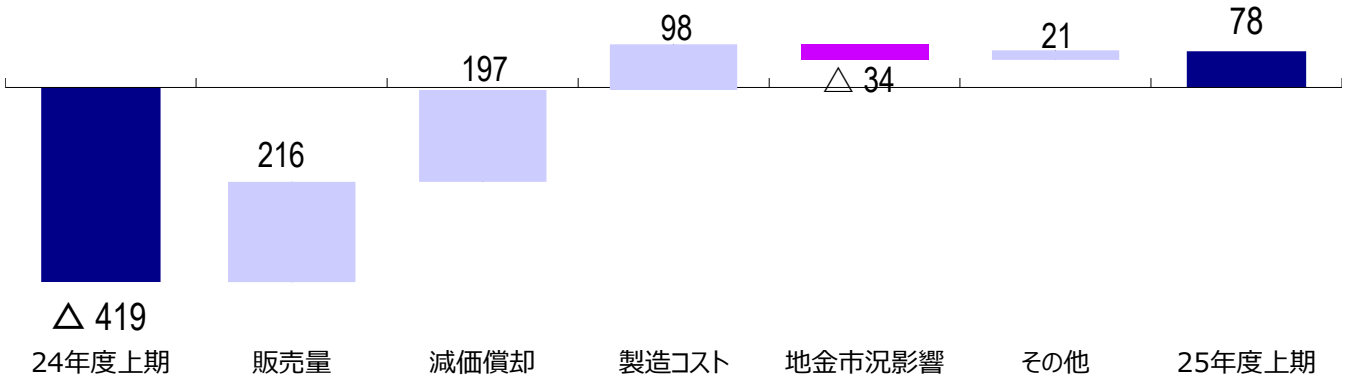

## 売上重量の推移




**《上期》**
**売上：262億円 前年同期比　+8億円 (+3.4%)**
**損益：　0.7億円 前年同期比　+4億円 (黒字化)**
**《第2四半期》**
**売上：121億円 前年同四半期比　△2億円 (△1.9%)**
**損益：△5.5億円 前年同四半期比　+1億円 (赤字)**

- 米国工場は前年上期比では1Qでの一過性の収益計上もあり赤字幅が縮小。メキシコ工場は引き続き堅調な利益を確保、販売量増加も寄与したことで、北米全体としては上期黒字を確保。米国工場は再建計画に対し一部遅れが出ているが、本社主導で確実な挽回を図る。

## セグメント損益増減要因（単位:百万円）



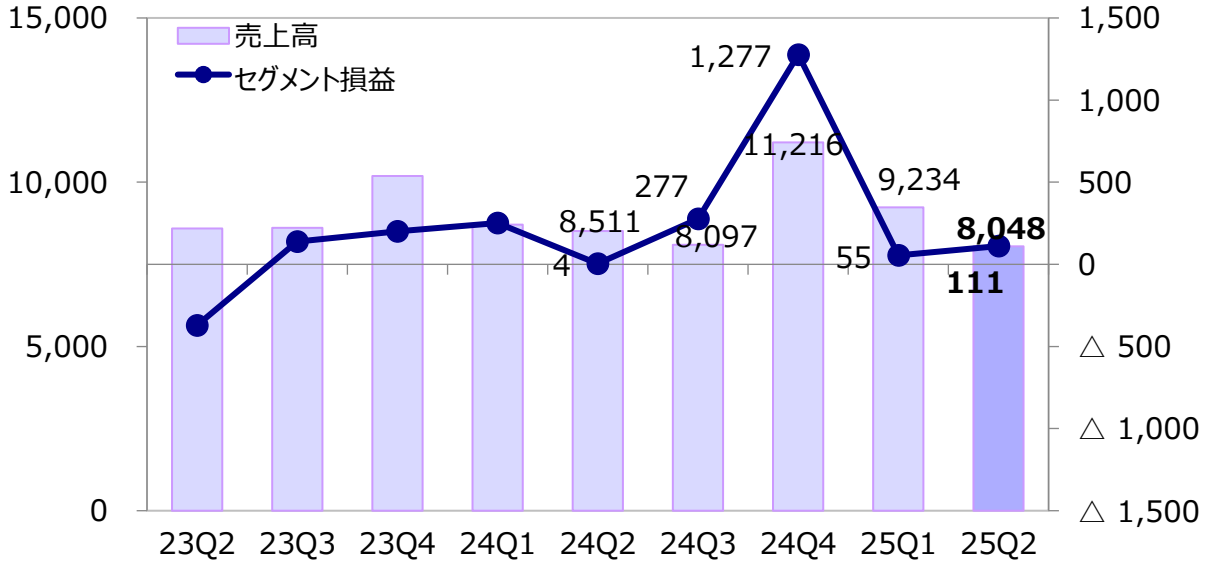

決算期:アメリカ3月期、メキシコ12月期
レート (24Q2⇒25Q2) アメリカ 152.34 ⇒ 146.58　メキシコ 152.33 ⇒ 149.00



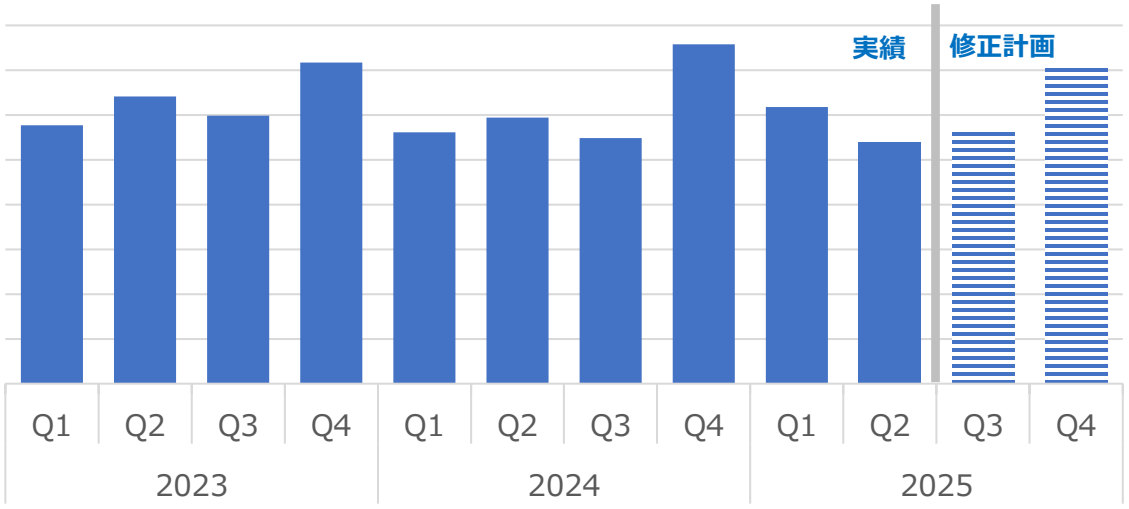
Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# ダイカストアジア

## 売上高／セグメント損益の推移（単位:百万円）



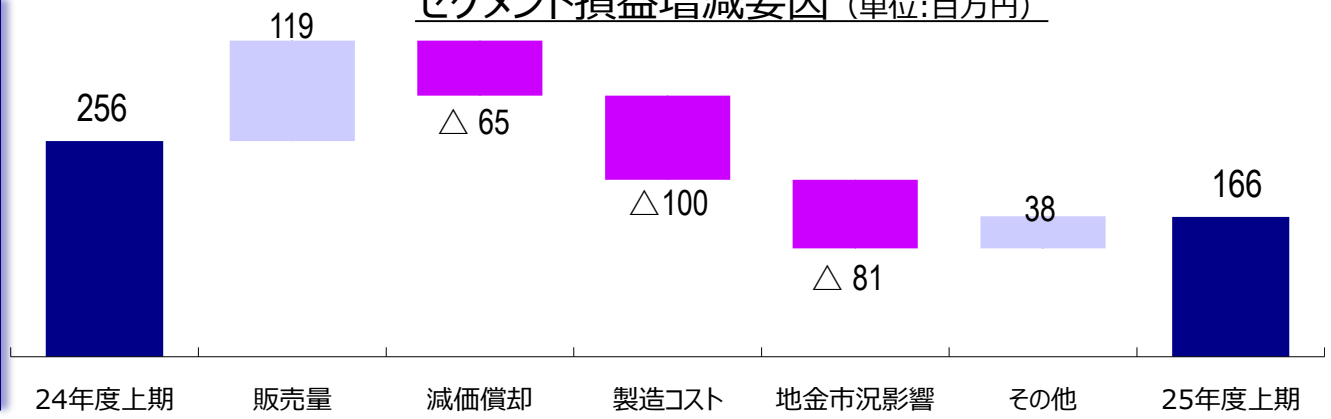

## 売上重量の推移




**《上期》**
**売上：　172億円 前年同期比＋0.6億円（＋0.4%）**
**損益：　1.6億円 前年同期比△0.9億円（△35.2%）**
**《第2四半期》**
**売上：　80億円 前年同四半期比 △4億円（△5.4%）**
**損益：　1.1億円 前年同四半期比 ＋1億円（+2675.0%）**

- 中国工場は日系顧客の受注減少分を中資系顧客向け新規受注で挽回したことに加え、前年度からの生産体制合理化により収益は確保。インド工場においては受注量は増加しているのの、一部製品の生産性改善の遅れによるコスト増で減益

## セグメント損益増減要因（単位:百万円）




決算期:中国12月期、インド3月期
レート (24Q2⇒25Q2) 人民元 21.07 ⇒ 20.54　インドルピー 1.82 ⇒ 1.70

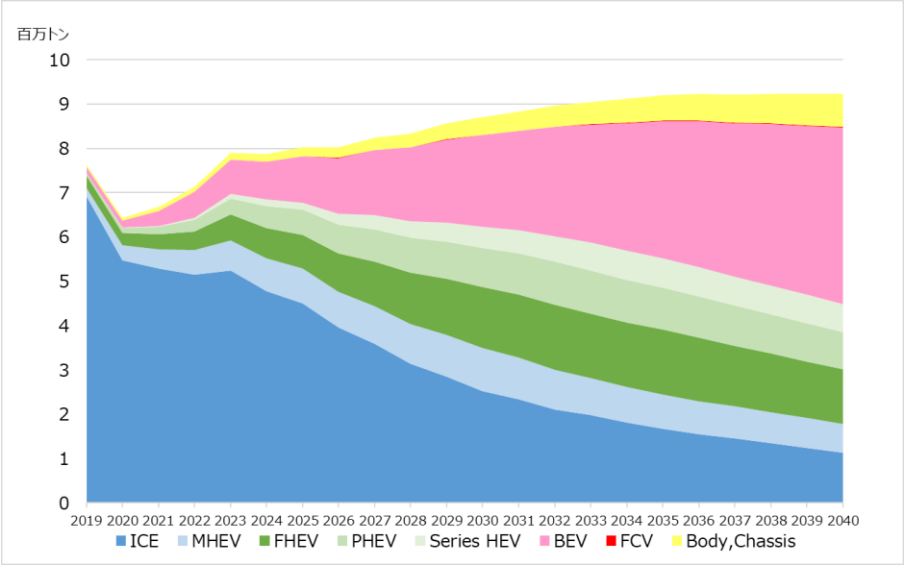


Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

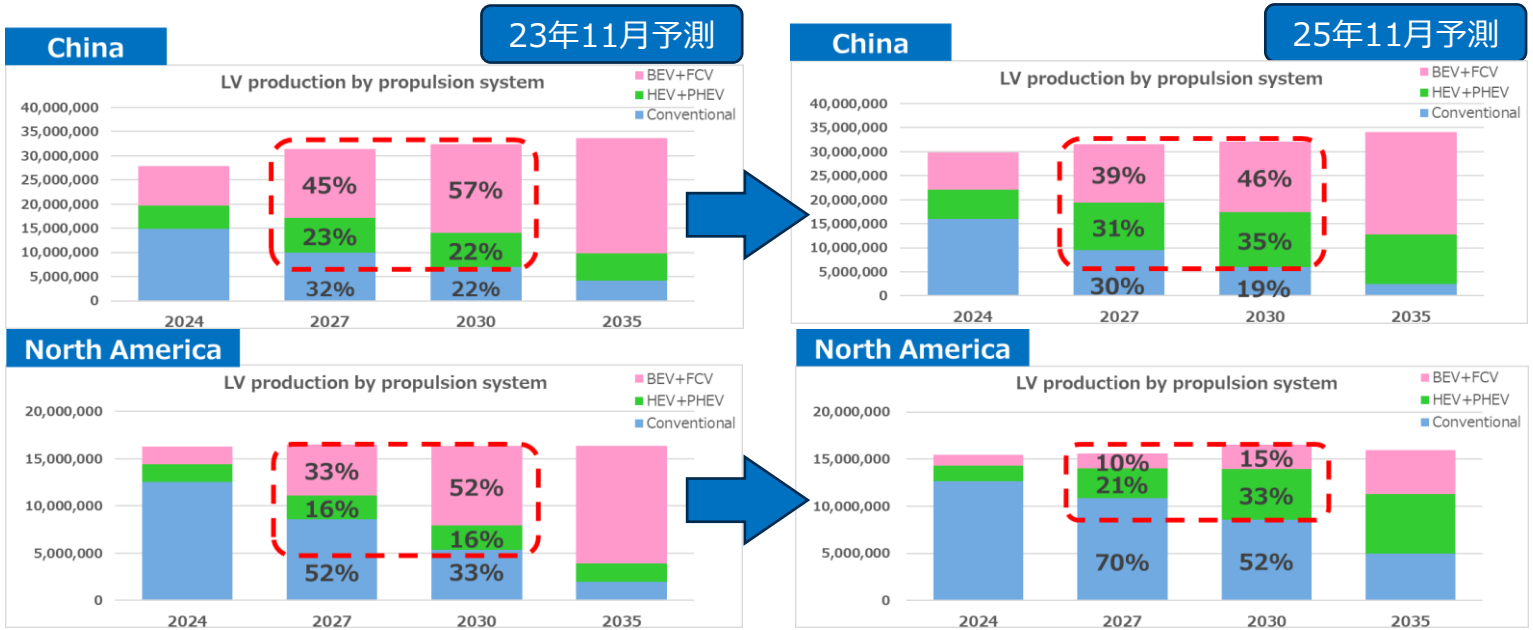
# 自動車市場の変化と受注に対する基本戦略

- 自動車生産台数は、堅調に増加していく
- 長期的には自動車パワートレインの電動化は進む（主軸はBEV）
- 2030年までのBEV化のスピードは鈍化しHEV・PHEVが増加、北米ではICEが回復。
- 「電動車搭載部品を中心とした受注」という営業の基本戦略は継続

【25年11月時点グローバル自動車向けダイカスト需要予測】




【BEVの2大市場の生産台数予測の変化】



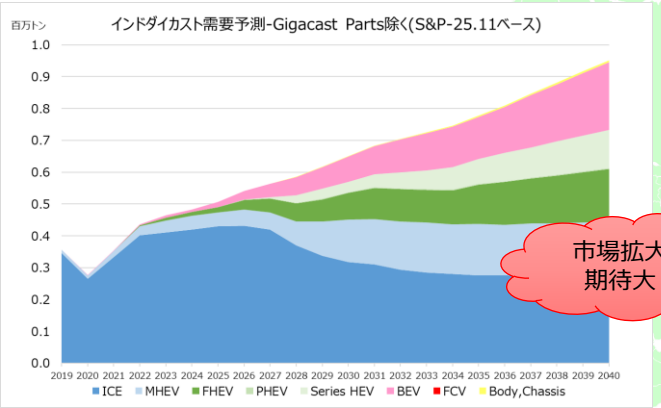

※S&P Global社データを基に当社にて作成



Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# 地域別市場変化と営業戦略

- 成長ドライバー地域：経営資源を投入し、売上・収益の拡大 ⇒ メキシコ、インド
- 安定化地域：ビジネス地盤を維持・強化し安定的な売上・収益の確保 ⇒ 日本、米国
- 回復地域：高い生産性と品質を武器とした新規受注活動による売上確保と、
  最適な事業規模の再構築による収益回復 ⇒ 中国




※S&P Global社データを基に当社にて作成

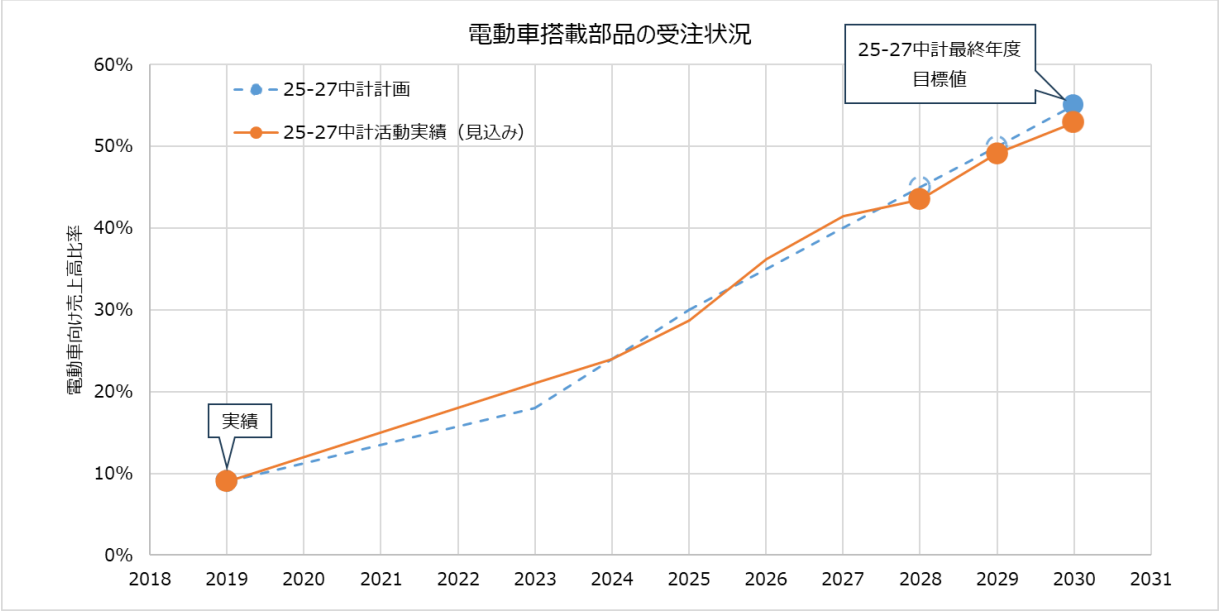
現時点で米国政権の政策への対応による顧客からの当社ビジネスに影響を及ぼすアナウンスは無い
今後も動向を注視し適切に対応していく



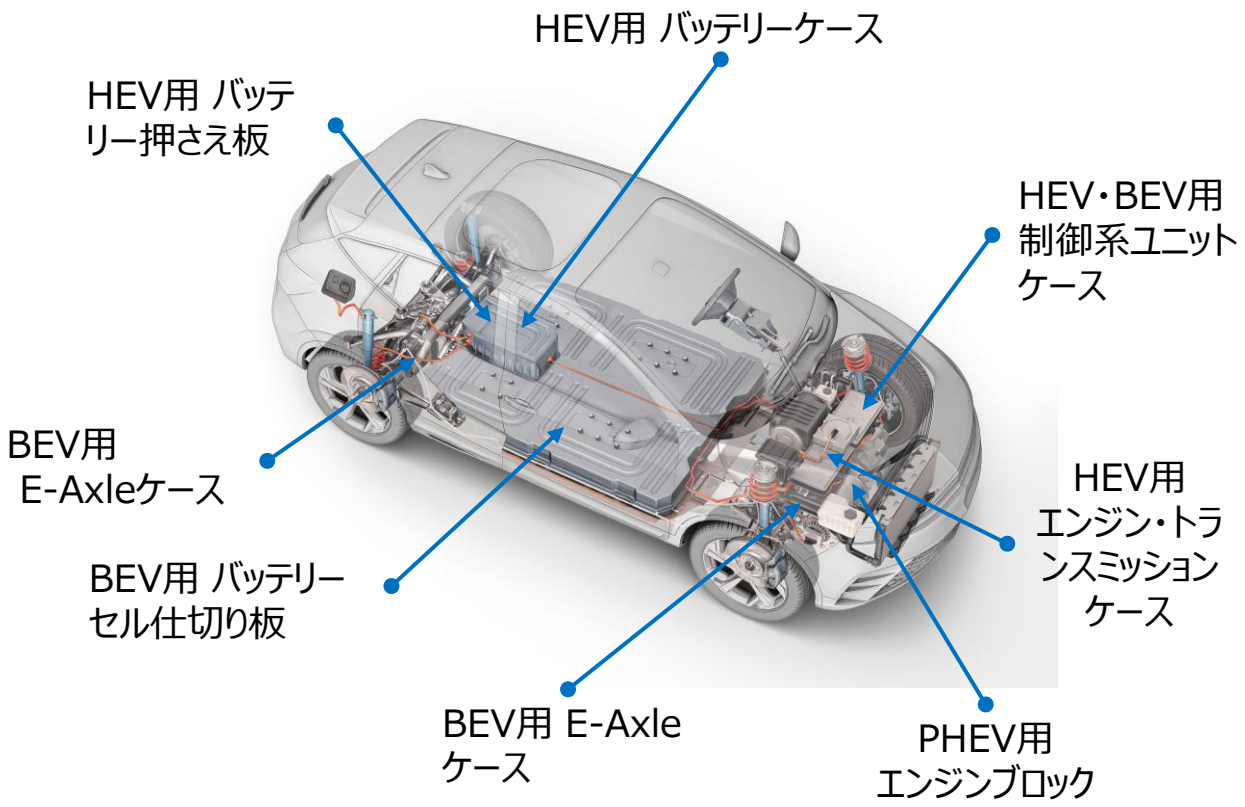
Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# 営業戦略推進状況

## ■電動車搭載部品売上高比率は、目標通り推移




## ■電動車のコア部品の受注が進んでいる



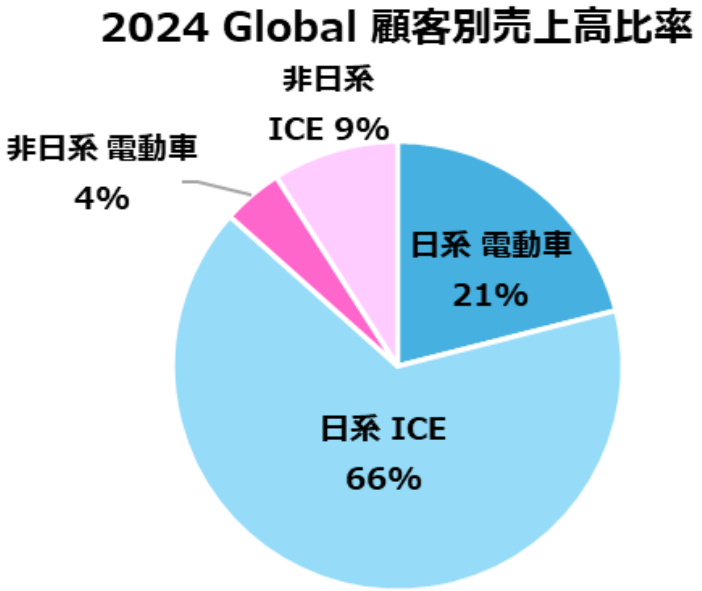


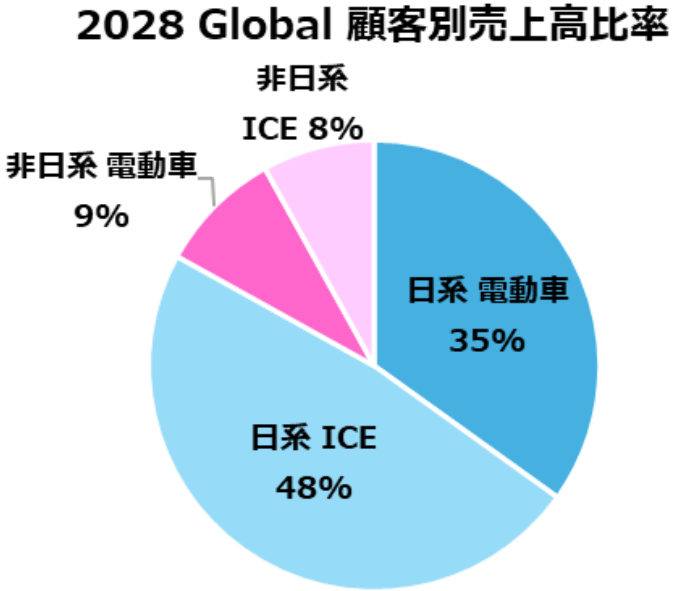

Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

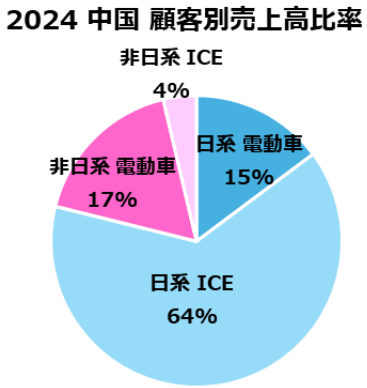
# 顧客ポートフォリオの変化

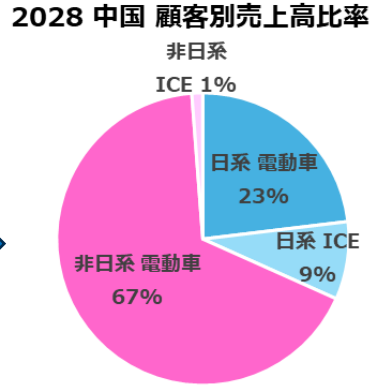
■地域ごとの市場にマッチした顧客ポートフォリオへ

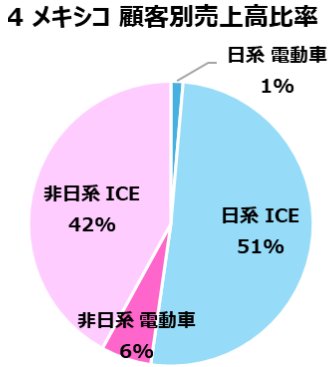
- ●メキシコにおける欧米系Tier1とのビジネス拡大（BIG 3 向け搭載部品の受注確保を狙う）
- ●中国における中資系顧客とのビジネス拡大（Geely向けPHEVブロックの受注）

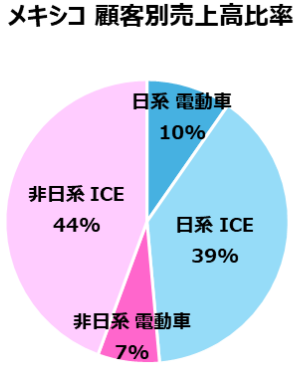


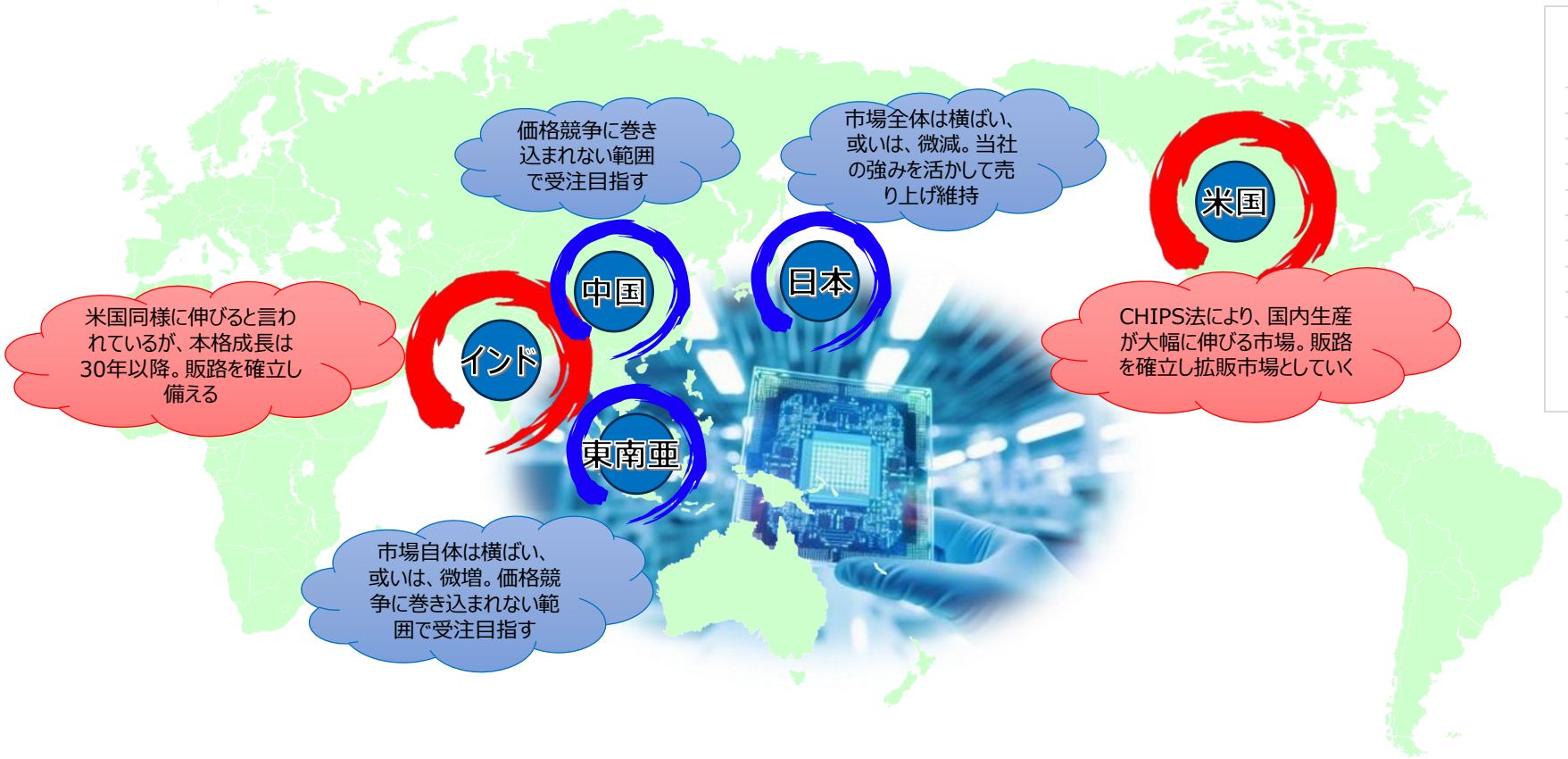


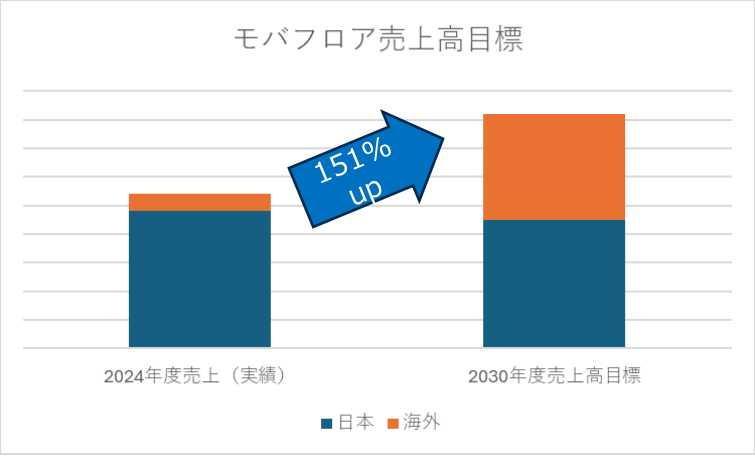

Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# 完成品事業のグローバル市場への取り組み

■日本市場にプレゼンスは維持しつつ、海外売り上げを伸ばしていく

■市場（半導体製造）が伸長するのは米国とインドととらえ、販路確立と拡販を狙う



Free Access Floor
モバフロア



Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# 10年ビジネスプラン

2040年ビジョン「ありたい姿」

10年ビジネスプラン　中期経営計画

期待を超える
2040

軽量化で
地球の未来
に貢献する

Ahrestyで
良かった！
を実現する

技術探究を
続け、唯一
を生み出す

- 自動車電動化
- カーボンニュートラル
- 燃費・電費向上

- 株主還元
- 顧客貢献
- ダイバーシティ

- 新工法開発
- 技術開発
- 開発スピード

| 2030年度目標値 | |
|---|---|
| 売上高 | 1,800億円 |
| 営業利益 | 81億円 |
| 営業利益率 | 4.5% |
| 電動車売上比率 | 55% |
| CO2排出量削減<br>(Scope1,2) | ▲50%<br>(2013年度比) |



Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# 27年度及び30年度の目標値

| | 2024年度 実績 | 2025年度 計画 | 2027年度 目標値 | 2030年度 目標値 |
|---|---|---|---|---|
| 売上高（億円） | 1,629 | 1,622 | 1,700 | 1,800 |
| 営業利益（億円） | 33 | 36 | 60 | 81 |
| 営業利益率 | 2.1% | 2.2% | 3.5% | 4.5% |
| ROE | △5.6% | 4.4% | 7.0% | 9.0% |
| 電動車売上比率 | FY27 42%<br>※25年5月時点 | FY28 45% | FY30 55% | 55% |
| CO2排出量削減(2013年度比) | △35% | △33% | △41% | △50% |

**2030年度 ROE目標水準**

| | |
|---|---|
| 売上高純利益率 | 3%以上 |
| × | |
| 総資産回転率 | 1.20回転以上 |
| × | |
| 財務レバレッジ | 2.50倍以下 |

**財務戦略の遂行による、ROE9%・PBR1倍達成を目指す**



Ahresty
Copyright © Ahresty Corporation. All Rights reserved.